

民意の反映について 2010.11.08/本会議

(かのう) 知事は、昨年の選挙で、「生活大県にチャレンジ」という新しいキャッチフレーズのもと、人が輝く元気で住みよいいばらきの実現に向け、これまでの経験と実績を生かし、300万人県民の幸せのため全力を尽くしていく覚悟であるとマニフェストにうたい、再選されました。また、県民との対話を一層重視し、県民の生の声に1つ1つ耳を傾け、県政に反映させていただきますともうたっています。その取り組みとして「知事と語ろう明日の茨城」やさまざまな懇談会などの対話の機会を通じて、県民の声を大事にされていることを承知していますし、こういった取り組みが多く支持につながったと思います。

私自身もかつて県民の一人として参加しましたが、不特定の県民の生の声を聞く機会をつくり、その声に耳を傾けることは、今の時代の民意を反映するという点で必要であります。こういう活動に、知事だけではなく、県議会議員も同席し意見を聞くことで、県内全体の諸問題の把握もできるし、さまざまな発見やアイデアが浮かぶことで、オールいばらきとして、これからの県政全体を考慮することができる議員の資質を鍛え、ひいては、議会の充実や議会改革にもつながるものと考えております。

そこで、知事に伺います。これまでに開催してきた知事と語ろう明日の茨城の実績及び成果をどのように認識されておられるのか。また、県内各地を回る中で、多くの県民からも行政改革や広域的な合併、選挙区の見直しと定数削減、議員報酬の見直しなど、議会改革についての話も出ていると思いますが、どう認識されているのか伺います。

(知事) 初めに、知事と語ろう明日の茨城の実績と成果について御質問をいただきました。私は、知事に就任以来、議員御指摘の知事と語ろう明日の茨城による県民との直接対話のほかにも、いばらき創り1000人委員会の創設や知事への手紙を充実させるなど、広く県民の声に耳を傾ける広聴活動に力を入れてきたところであります。

知事と語ろう明日の茨城の実績につきましては、平成18年度から開催回数を大幅に拡大しており、これまでに28市で実施するなど、県内において幅広く実施してきた結果、同年度以降だけで見ましても、延べ2,793人の県民に参加をいただいているところであります。また、その成果でございますが、この集会では、あらかじめ意見、質問といったものをとらず、何でも自由に発言をいただいております。極めて多種多様な御発言がされております。集会では、私の考え方を冒頭説明しますとともに、県民の皆様の抱えているさまざまな課題や多くの提言、意見につきまして活発に意見交換を行ってきたところでありまして、課題の解決、あるいは県の施策への反映などに結びついたものも数多くあり、大変有意義ではないかと考えております。今後とも、県民との対話をより一層

重視し、多くの県民の声を県政に反映できるよう努めてまいります。

なお、この集会の中で、議会改革に関する話題といたしましては、平成 18 年度以降で、3 人の方から議員報酬のことなどについて御質問がございました。これに対しましては、地方制度は二元代表制であるので、議会の問題については、できるだけ議会みずからが判断していくことが望ましいことを申し上げ、その内容については議会にお伝えし、対応をお願いしてきたところでありますので御了承をお願いいたします。